

# 学校推薦型選抜（公募）Ⅰ期 国語「基礎学力調査」（二日目）

【一】 次の文章を読んで後の問（問一～五）に答えなさい。

奇妙なことに、サルも類人猿も一度群れを離れると、めったに元の群れへ戻ることはない。それは、群れに戻ろうとする  
と、元の群れの仲間たちから攻撃を受けて追い出されてしまうからである。おそらく、そのサルが不在の間に新しい社会関  
係ができてしまい、元の関係に戻れなくなってしまうからだと考えられる。いったん群れを離れたゴリラのオスが元いた群  
れと接触すると、父親や兄弟のオスから強い反発を受けるし、チンパンジーのオスは数週間姿を消しただけで、元の仲間か  
らイツセイ攻撃を受けて殺されることがある。サルや類人猿の社会では、不在は社会的な死を意味する。不在の後、元の社  
会関係を A することはシナンの業なのである。

サルや類人猿と比べると、人間は何と許容に B 社会を作ってきたことか。私たちは日々さまざまな集団を渡り  
歩いて暮らしているし、数十年の不在もまるでなかったかのように受け入れてもらうことができる。ただ、それはおそらく  
最近の人間社会がやっと到達できた仕組みなのではないだろうか。日本でも近年まで住んでいる土地を離れるにはお上の許  
可が必要だったし、各都市には関所が設けられて出入りが厳しく監視されていた。私がゴリラの調査をしていたアフリカの  
熱帯雨林では、街道沿いの村の真ん中に壁のない休み場所が設けられている。旅人はそこにまず腰を下ろして自分のスジヨ  
ウを述べる。村人はそれを聞いて、群れへの滞在や先へ進むことを許可する。出される飲み物や食事はその判断の結果であ  
る。危険と思えば、毒を C いい。文字のない世界で暮らしてきた人々にとって、旅人は外の世界とをつなぐ情報

源であると同時に、村にサイヤク(エ)をもたらす源泉でもあるからだ。

(山極寿一「不在を許す心」より)

〔問一〕 傍線部(ア)～(エ)にあてはまる漢字を含む熟語を、次の各群の①～⑤のなかから、それぞれ一つずつ選びなさい。

- |     |      |   |    |   |    |   |    |   |    |   |    |
|-----|------|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| (ア) | イツセイ | ① | 声援 | ② | 完成 | ③ | 勢力 | ④ | 省力 | ⑤ | 斉唱 |
| (イ) | シナン  | ① | 必至 | ② | 指名 | ③ | 大志 | ④ | 試験 | ⑤ | 施工 |
| (ウ) | スジヨウ | ① | 清浄 | ② | 常温 | ③ | 禅譲 | ④ | 必定 | ⑤ | 耐性 |
| (エ) | サイヤク | ① | 苦役 | ② | 厄神 | ③ | 毒薬 | ④ | 躍動 | ⑤ | 要約 |

〔問二〕 空所 A A  C に入る最も適切な言葉を、次の各群の①～⑤のなかから、それぞれ一つずつ選  
びなさい。

- |   |   |     |
|---|---|-----|
| A | ① | 統率  |
| B | ① | 備える |
| C | ① | 放てば |
|   | ② | 拡張  |
|   | ② | 対した |
|   | ② | 溶けば |
|   | ③ | 固定  |
|   | ③ | 応えた |
|   | ③ | 飲めば |
|   | ④ | 修復  |
|   | ④ | 配する |
|   | ④ | 買えば |
|   | ⑤ | 保存  |
|   | ⑤ | 満ちた |
|   | ⑤ | 盛れば |

〔問三〕 傍線部(1)「不在は社会的な死を意味する」を別の表現にした場合に最も適切なものを、次の①～⑤の中から一

つ選びなさい。

- ① 群れから離れて生きていくことはできない。
- ② 群れから離れないように教えられる。
- ③ 記憶からは消えても生命は消えない。
- ④ いなくなったら社会が崩壊する。
- ⑤ 群れとは社会関係そのものである。

〔問四〕 次の(i)～(iv)について、それぞれは「人間だけ」「サルや類人猿だけ」「人間・サル・類人猿すべて」「すべてにあて

はまらない」のどれに該当するか。次の①～④のなかから一つ選びなさい。

- (i) 昔から今まで、自分の群れを守るために外の存在を排除し続けてきた。
  - (ii) 外から来た危険な存在を、貴重な情報源として受け入れることがあった。
  - (iii) 外の世界からやって来た存在は、殺されることがあった。
  - (iv) さまざまな集団を渡り歩く存在は、常に厳しく監視されている。
- ① 人間だけ
  - ② サルや類人猿だけ
  - ③ 人間・サル・類人猿すべて
  - ④ すべてにあてはまらない

〔問五〕

本文の内容に合致するものを、次の①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① サルは類人猿よりも攻撃的である。
- ② アフリカの熱帯雨林のゴリラは知能が高い。
- ③ サルや類人猿は社会関係をつくるのが下手である。
- ④ かつて人間は見知らぬ人々に気を許さなかった。
- ⑤ 人間は知り合いになった人々を手厚くもてなす。

【二】 次の文章を読んで後の問（問一～九）に答えなさい。

いま、島田清次郎という小説家のことを知っているのは、近代文学を専門にしている研究者くらいであろう。その『地上』（大正八年）という作品が天下の話題になったのを知る人はもうほとんどなくなろうとしている。

島田清次郎は大正の文学青年から見ても、まさに天才であった。それを疑うものはすくなかった。それがどうであろう。僅か六十年にして、ほぼ、完全に忘れられてしまった。当時としては、むしろ、夏目漱石の文学について疑問をいだくものが多かった。批判もすくなくなかった。それがいまでは国民文学として、近代文学において比肩(あ)しうるものなしといわれるまでになっている。

大正の中葉において、現在のことを予測し得たものはほとんどなかったと言つてよい。へⅠへ。流行というのはそれくらい人の目をくるわすものである。へⅡへ。「現代」はいつの時代においてももつとも不可解である。へⅢへ。あまり大きな見当違いはもうおこらない。へⅣへ。それなのに、何でも直接に見聞して知っているはずの現在のことが実にわからない。へⅤへ。まれにわかつたと思つと、とんでもない判断をしてしまう。

文学史家はこのことをよく承知している。ときに、現代文学史を試みる人もないではないが、だいたいの史家は、現代に近づくことをおそれる。三十年、五十年前のところまで、筆を止めるのが普通になっている。

それでも、新しいところへさしかかるにあたっては、「まだ、これらの作家、作品は、時の試鍊を經ていない。いま不用意(い)にその軽重をあげつらうことは慎しまなくてはならない」といった意味の常套句をかならずと言つてよいほど用意しているものだ。

その裏には、おびたしい失敗例がごろごろしている。なぜ、いちばんよくわかっているはずの目前のことがそれほどわからないのか。ひとつには、それまでの考え、それにもとづく流行の色眼鏡をかけて見ているからである。まわりがひとし(か)くかけている眼鏡をはつきり一時的なもの(き)と看破することは難しい。そのメガネ越しでは、新しいものがあらわれても見え

ない。たとえ見えても、怪奇な姿にうつるであろう。とうてい真の価値を見ることはできない。

(外山滋比古「時の試鍊」より)

〔問二〕 傍線部(あ)～(え)を別の言葉に置き換えた場合に最も適切なものを、次の各群の①～⑤のなかから、それぞれ一つずつ選びなさい。

- |           |        |        |        |        |        |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| (あ) 比肩    | ① 匹敵   | ② 圧倒   | ③ 異彩   | ④ 代替   | ⑤ 賞揚   |
| (い) 不用意   | ① 性急   | ② 大胆   | ③ 鷹揚   | ④ 無知   | ⑤ 不測   |
| (う) あげつらう | ① 褒賞する | ② 議論する | ③ 推量する | ④ 伝達する | ⑤ 識別する |
| (え) 看破    | ① 卓見   | ② 舌鋒   | ③ 洞察   | ④ 指弾   | ⑤ 非難   |

〔問三〕 本文中からは「古い時代のことはよくわかる」という一文が抜き取られている。それが入るべき箇所として最も適切なものを、①～⑤のなかから選びなさい。

- ① へ I へ  
 ② へ II へ  
 ③ へ III へ  
 ④ へ IV へ  
 ⑤ へ V へ

〔問三〕 「流行」の対義語として適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 衰減
- ② 保守
- ③ 執着
- ④ 不易
- ⑤ 停留

〔問四〕 傍線部(1)「わかった」とあるが、何がわかったのか。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 天才
- ② 国民文学
- ③ 新しいもの
- ④ 文学史
- ⑤ 真の価値

〔問五〕 傍線部(2)「おびただしい失敗例」にあてはまる最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 話題にならない作品を執筆したこと。
- ② 現代文学史を試みてしまったこと。
- ③ 近代の国民文学を批判したこと。
- ④ 新しい作家や作品の価値を見誤ったこと。
- ⑤ 新しい常套句を用意しなかったこと。

〔問六〕 傍線部(3)「ひとしくかけている」とはどういう意味であるか。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① ある流行に皆が踊らされている。
- ② レンズの色は違うが同じ眼鏡である。
- ③ 同じような考え方をしている。
- ④ 誰にも正しい見方ができていない。
- ⑤ 同じ格好をするよう命じられている。

〔問七〕 文中の「眼鏡」とは、何をたとえたものであるか。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 偏見
- ② 固定観念
- ③ 文学理論
- ④ 美意識
- ⑤ 非常識

〔問八〕 本文の内容と合致しないものを、次の①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① 島田清次郎は大正の文学青年にとって天才であった。
- ② 直接に見聞きしていても、現在のことはわからない。
- ③ 新しいものはそれまでの考えとは対立的である。
- ④ 作家や作品の評価が定まるには時間がかかる。
- ⑤ 流行の色眼鏡越しでは国民文学が見えてこない。



〔問九〕 夏目漱石の作品として適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 『舞姫』
- ② 『暗夜行路』
- ③ 『倫敦塔』
- ④ 『河童』
- ⑤ 『田舎教師』

# 【解答例】

入試年度 : 2021  
入試種別 : 学校推薦型選抜(公募)  
I期 2日目  
科目 : 基礎学力調査

## 〈国語〉

| 問No. | 解答番号 |
|------|------|
| 1    | 5    |
| 2    | 1    |
| 3    | 5    |
| 4    | 2    |
| 5    | 4    |
| 6    | 5    |
| 7    | 5    |
| 8    | 1    |
| 9    | 2    |
| 10   | 1    |
| 11   | 3    |
| 12   | 4    |
| 13   | 4    |
| 14   | 1    |
| 15   | 1    |
| 16   | 2    |
| 17   | 3    |
| 18   | 3    |
| 19   | 4    |
| 20   | 5    |
| 21   | 4    |
| 22   | 3    |
| 23   | 2    |
| 24   | 3    |
| 25   | 3    |